



2019年1月16日

## 「プラド美術館200周年公式記念コイン」予約販売のお知らせ

筑波銀行（頭取：藤川 雅海、本店：茨城県土浦市）は、「プラド美術館200周年公式記念コイン」の予約販売を、1月21日（月）より開始しますのでお知らせいたします。

このコインは、芸術大国スペイン最大の美の殿堂であり、日本国内でも数十万人を動員する展覧会が開かれるなど高い人気を誇るプラド美術館の開館200周年を記念し、同美術館監修のもと王立スペイン造幣局が鑄造・発行するもので、下記のとおり予約販売を開始いたします。

### 記

#### 1. 販売概要

	種類	販売価格	数量
A	カール5世金貨	118,800円	国内限定 300枚
B	メレアグロス金貨	118,800円	国内限定 300枚
C	サン・イルデフォンソ金貨	118,800円	国内限定 300枚
D	金貨3種セット	356,400円	国内限定 800セット
E	カラー銀貨3種セット	49,680円	国内限定 1,100枚

※いずれも税込価格です。

※銀貨はセット販売のみとなります。（単品販売はいたしません）

※各商品すべてに特製ケースと発行証明書、解説ブックレットを付けてお渡します。

#### 2. 予約販売受付期間

2019年1月21日（月）～2月8日（金）

※数量限定のため、受付期間中であっても販売予定数量に達した場合は、販売を締め切らせていただきます。

#### 3. お引渡し予定日

2019年3月12日（火）以降

#### 4. 販売窓口

当行全営業店

以上

報道機関のお問合せ先			
筑波銀行	総合企画部	広報室	鴨志田 内線3730
TEL 029-859-8111			

# Monedas Conmemorativas Oficiales del Bicentenario del Museo del Prado



## 商品の一覧

### A. カール5世金貨

118,800円(税込) **限定300枚**

額面: 100 ユーロ 品位: 99.9% 重量: 6.75g  
直径: 23.0 mm 状態: プルーフ



### B. メレアグロス金貨

118,800円(税込) **限定300枚**

額面: 100 ユーロ 品位: 99.9% 重量: 6.75g  
直径: 23.0 mm 状態: プルーフ



### C. サン・イルデフォンソ金貨

118,800円(税込) **限定300枚**

額面: 100 ユーロ 品位: 99.9% 重量: 6.75g  
直径: 23.0 mm 状態: プルーフ



# Monedas Conmemorativas Oficiales del Bicentenario del Museo del Prado



D. 金貨3種セット

356,400円(税込) 限定800セット



E. カラー銀貨3種セット

49,680円(税込) 限定1,100セット

額面: 10 ユーロ 品位: 99.9% 重量: 31.41g サイズ: 36.0×36.0 mm 状態: プルーフ



# Monedas Conmemorativas Oficiales del Bicentenario del Museo del Prado



## デザインと解説

### 金貨

#### 金貨共通<表面>

プラド美術館200周年のロゴと額面、隣には美術館の中央にある「ベラスケスの入口」に設置されている、ディエゴ・ベラスケス像を刻みつけました。右側には王立スペイン造幣局のロゴ、下部には国名の ESPANA(スペイン)の文字が刻印されています。



実物サイズ

額面: 100ユーロ 品位: 99.9% 重量: 6.75g 直径: 23.0mm

#### 金貨<裏面>

##### A. カール5世金貨



ミュールベルクの戦いの際に着用した甲冑に身を包み、肩と胸にメダルを飾った神聖ローマ皇帝・カール5世の逞しい姿をモチーフにした彫刻作品。コイン中央に作品上部を大きく配置、はっきりとした凹凸で彫刻本来の立体感を表現しています。その周囲には国名、作者名、発行年が刻まれ、コインの周りには華やかな装飾が施されています。

レオーネ・レオーニ/ポンパオ・レオーニ作「カール5世と猛威」  
(1551-1555年 大理石)  
Copyright Prado Museum



##### B. メレアグロス金貨



ルネサンス時代に多くの芸術家に影響を与えた、ギリシア神話の英雄メレアグロスが犬を連れアッティカを荒らすカリュドーンの猪を退治する勇姿をダイナミックに表現した彫刻作品。コイン中央に作品全体を大きく配置し、周囲には国名、作者名、発行年が刻まれています。コインの周りには華やかな装飾が施されています。

ジョヴァンニ・ディ・ベネディット・バンディーニ作「メレアグロスの狩り」  
(1583-1584年 金銅製)  
Copyright Prado Museum

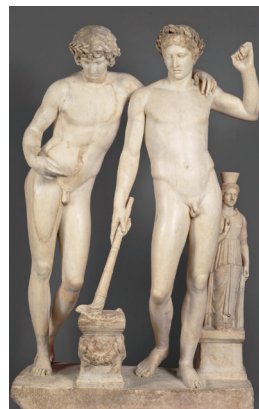


##### C. サン・イルデフォンソ金貨



現代では“兄弟愛のしるし”と解釈されている、古代彫刻では珍しい、若者がもう一人の肩に片腕を掛けているポーズをモチーフにした、彫刻家パシテレスの弟子による作品。コイン中央に作品全体を大きく配置し、周囲には国名、作者名、発行年が刻まれています。コインの周りには華やかな装飾が施されています。

パシテレス派「オレテースとピュラーデス」  
(紀元前10世紀頃 大理石)  
Copyright Prado Museum



# Monedas Conmemorativas Oficiales del Bicentenario del Museo del Prado



## デザインと解説

### カラー銀貨

#### カラー銀貨共通<表面>

記念コインとして希少な正方形のデザイン。金貨と同様、プラド美術館200周年のロゴと額面、隣には美術館の中央にある「ベラスケスの入口」に設置されている、ディエゴ・ベラスケス像を刻みつけました。右下には王立スペイン造幣局のロゴ、上部には国名の ESPANA (スペイン)の文字が刻印されています。



額面:10ユーロ 品位:99.9%  
重量:31.41g サイズ:36×36mm

#### カラー銀貨<裏面>

##### ① 裸のマハ銀貨



プラド美術館で最も所蔵作品数の多い<フランシスコ・デ・ゴヤ>が描いた唯一の裸婦像で、19世紀初頭にスペイン首相を務めたマヌエル・デ・ゴドイに納められたとされる名画がモチーフ。裸婦像を中心に配置し、緻密な色彩で作品をリアルに表現しています。コイン上部には作者名が刻印され、正方形の周りには額縁を連想させる華やかな模様が施されています。



Copyright Prado Museum  
フランシスコ・デ・ゴヤ作「裸のマハ」  
(1800年以前 キャンバス・油彩)

##### ② 王太子カルロス銀貨



プラド美術館の“顔”としても知られる、<王太子バルタサル・カルロス騎馬像>の雄姿を描いた<ディエゴ・ベラスケス>の傑作がモチーフ。当時5~6歳とされる王太子が指揮棒を掲げる肖像を大きく配置し、鮮やかで緻密な色彩を際立たせています。コイン上部には作者名が刻印され、正方形の周りには額縁を連想させる華やかな模様が施されています。

ディエゴ・ベラスケス作「王太子バルタサル・カルロス騎馬像」  
(1635年頃 キャンバス・油彩)



Copyright Prado Museum

##### ③ 受胎告知銀貨



<エル・グレコ>の大作の一つで、マドリードのドーニャ・マリア・デ・アラゴン学院の大祭壇画の一部として制作された迫力ある作品がモチーフ。縦長の構図から人物と光の部分を中心に配置。緻密な色彩が作品の神々しさをリアルに表現しています。コイン上部には作者名が刻印され、正方形の周りには額縁を連想させる華やかな模様が施されています。

エル・グレコ作「受胎告知」  
(1597-1600年 キャンバス・油彩)  
Copyright Prado Museum





(参考)

## プラド美術館について

プラド美術館は、“芸術の国”スペインの中心的な国立美術館であり、首都マドリッドにあります。スペイン王室のコレクションが元になっており、12世紀から20世紀初頭のヨーロッパ美術の世界で最も優れたコレクションの一つとされています。1819年に絵画と彫刻の美術館として創設されましたが、その他さまざまな種類の重要な作品群も所蔵しています。プラド美術館は世界で最も多くの人々が訪れている場所の一つであり、世界で最も偉大な美術館の一つであると考えられています。最も所蔵作品数の多いフランシスコ・デ・ゴヤをはじめ、ヒエロニムス・ボス、エル・グレコ、ピーテル・パウル・ルーベンス、ティツィアーノ、ディエゴ・ベラスケスなどのコレクションが見どころです。

所蔵品は現在、素描8,200点、絵画7,600点、版画4,800点、彫刻1,000点、そしてその他の種類の多くの美術品や史料から形成されています。本館に展示された作品は約1,300点で、約3,100点の作品が様々な美術館や公的な組織に貸し出されています。残りの作品は収蔵庫に保管されています。2012年には280万人の来場者を迎えるなど、スペイン最大の美術館の一つです。



MUSEO  
DEL  
PRADO  
200  
AÑOS

## 王立スペイン造幣局について

王立スペイン造幣局は、1893年に2つの歴史ある組織（造幣局と切手工場）が合併して誕生しました。1989年に最初の収集家向けコインを鋳造して以来、伝統とモダンティを融合したユニークなコインを鋳造する造幣局として国際的な評価を得ています。独自に開発した技術の一つに、コインを眺める角度によって異なる模様を浮かび上がらせる「潜像加工」があり、これはコインの美しさと同時に、偽造防止にも貢献しています。

また、独自のデジタルプリント技術を導入したカラーコインの美しさは世界トップの評価を得ています。世界の造幣局トップが集まる「世界造幣局長会議 (Mint Directors Conference)」2018年において「最も美しいコイン」として、『フェリペ6世 生誕50周年記念』銀貨と、“スペイン美術館の至宝”シリーズとして発行された『快樂の園』銀貨の2種が受賞しました。



 Real Casa de la Moneda  
Fábrica Nacional  
de Moneda y Timbre